

2022年2月28日

3種類は国立大学初!!

大阪大学の**トイレ内で生理用品の無償提供**を開始
～災害時・環境にも配慮した**ディスペンサー**を独自開発!～

❖ 本件のポイント

- ・大阪大学キャンパスのトイレ内で生理用品3種類の無償提供を開始
- ・3種類の提供は国立大学で初
- ・環境と災害時にも配慮した生理用品提供用のディスペンサーを開発（特許出願中）
- ・キャンパス内30か所にディスペンサーを設置
- ・この取り組みを続けていくため、産学間の協働で事業展開を検討中

❖ 概要

大阪大学は、SDGsに掲げる目標であるジェンダー平等及び女子学生のウェルビーイングの向上を目的として、女子トイレ、多目的トイレ（ALL GENDERトイレ）内に**ディスペンサーを設置し、生理用品の無償提供**を行います。

昨今「生理の貧困」が社会課題として認知を高めましたが、本学においては「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」※¹（2021年9月公表）の理念実現のため、男女協働推進オフィスで実施した同オフィスと女性研究者との意見交換の際、大阪大学大学院人間科学研究科の杉田映理准教授から、月経をめぐるウェルビーイングの向上を目指して実施している大阪大学ユネスコチェア MeW プロジェクト※²の全学展開について提案がありました。すでに同研究科においては、独自に開発した専用のディスペンサーを設置することにより生理用品の無償提供の実証実験を始めています。このたび全学展開を目指して、豊中・吹田・箕面の全キャンパスの一部トイレにおいて2022年3月1日から生理用品の無償提供を開始します。

❖ 実施方法

- ・豊中・吹田・箕面キャンパスの女子トイレ及び多目的トイレ（ALL GENDERトイレ）の個室や共用スペース内に生理用品提供用のディスペンサーを順次配備します。
（人間科学研究科を除く、全学における当初設置は30か所程度となる見込み。今後順次拡大予定。）
- ・**生理用品は3種類**用意します。
（3種類の提供は国立大学初の取組です!）
 - ①普通タイプの使い捨てナプキン
 - ②ノンポリマータイプの使い捨てナプキン（経血の吸収体である高吸収ポリマーが含まれないもの）



生理用品提供用のディスペンサー

Press Release

- ③タンポン（国によってはタンポン利用が一般的なところもあり、多文化共生の観点から配備）環境にやさしいとされるノンポリマータイプのナプキンも併せて設置することにより、学生自身に生理用品の選択について考える機会を持ってもらいたいと考えています。
- ・生理用品提供用のディスペンサーは、人間科学研究科で開発された、強度を確保しながらも軽量の環境にやさしいダンボール製の組み立て式です（特許出願中）。運搬や保管のときはフラットになって、簡単に組み立てられるようになっています。置く、壁に貼る、吊り下げる等、多様な設置方法が可能です。ダンボール製とすることにより災害時に避難所で使用できるように工夫し、資源ごみとして廃棄することにより環境負荷を抑えられます。
 - ・この取り組みを持続すべく、大学と企業との協働による事業展開について検討を進めています。

❖ 本取組の必要性

本取組の必要性について以下の6項目があげられます。

- (1) トイレ内で生理用品が入手できることによる利便性の向上
- (2) 教育の機会損失の軽減
- (3) 女子学生の経済的負担軽減
- (4) 女子学生の月経をめぐるウェルビーイングの向上
- (5) ジェンダー平等の推進
- (6) SDGs への貢献

(参考)

◆第56回学生生活実態調査（全国大学生協連） 2020年10月～11月から抜粋

- ・「ジェンダー平等の実現」への関心の増加が目立つ
- ・SDGsの17の目標のうち前年から増加が大きい

→ SDGs「5 ジェンダー平等を実現しよう」37.1%（男性25.0%・女性51.2%）は、前年から6.2（男性4.1・女性8.7）ポイント増で、女性の過半数が関心を持っている。

（図表21）<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

本学が推進するSDGsの実現において、「ジェンダー平等を実現しよう」については学生の関心も高く、生理用品の無償配布を、全学をあげた取組とすることで目標の達成に大きく貢献すると考えています。

❖ 用語説明

※1 大阪大学ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進宣言

<http://osku.jp/r0202>

※2 MeW プロジェクト

<https://mewproject-osaka-u.jp/>

大阪大学大学院人間科学研究科の杉田映理准教授をはじめとする教員や大学院生がメンバーとなっているプロジェクトであり、生理用品の無償提供用のディスペンサーの開発・設置の実証実験を通じて、日本における月経の諸課題について研究を行っています。

本研究のメイン・コンセプトは、Menstrual Wellbeing by/in Social Designです。略してMeW（ミュー）。大阪大学ユネスコチェアのメイン・コンセプトであるSocial Design for Health（健康のための社

Press Release

会デザイン) をベースにし、MeW プロジェクトは、2021 年度のヒューマン・サイエンス・プロジェクト (HSP)の研究資金を得て実施しており、生理用品提供用のディスペンサー設置の実証実験や月経に関する意識調査、勉強会等を行っています。

❖ SDGs の目標

